

第57回 SSN 勉強会

「親子田んぼ教室 稲刈り編を見学する」 &
「子どもたちに伝えたい季節の行事・秋」

佐藤一枝（千葉市）

日 時：2012年9月29日（土）9時30分～15時30分

講 師：午前 ビオトープの会（西川 章さん）

午後 荘子淑子さん、末永博子さん（四街道市、当会会員）

場 所：昭和の森 蛭田。昭和の森管理事務所会議室

参加者：大山、河添、小林(義)、佐口、佐藤(一)、佐野、荘子、末永、武田、花島、林(信)、松川、宮川、八木、山下、山田(益)、吉田(祥) 17名 非会員3名 計20名

午前の部：観察地の蛭田は湿田。ズボッ・ブシュッと足が潜る、初めは恐る恐る刈っていたが、慣れてきて、ザクッザクッとリズムカルに。おだ掛けの稲の前では、満足の笑み。参加者の感想は“体験することが大切”。子どもの頃の体験を思い出した。--など。（前ページの記事を参照）

午後の部：秋の花を溢れんばかりに飾って

テーマは、**秋の七草・お月見・七五三の行事** についての講習会でした。

秋の七草：秋の七草と言えば、万葉集 山上憶良のうたを思い出しますが、あなたはどの花を詠みますか？ 皆さんが七草に数えたい花として選んだのは、シラヤマギク・リンドウ・トリカブト・ワレモコウ・カラスウリ・ホトギス・ノササゲ・ススキ・セイタカアワダチソウ・ヒヨドリバナ・トキ・トキリマメ・サクラタデ・シュウカイソウ・カクトラノオ・カリガネソウ・ガガイモ・ヌカキビ でした。わたしの秋の七草を詠んでみましょう。

秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種の花。

(萩の花、葛花 刈萱、吾亦紅、山辺に蔓竜胆 竜腦菊 そして真赤な夕日に輝く烏瓜 一枝)

お月見：今年は9月30日が中秋の名月十五夜で満月

(旧暦8月15日)です。

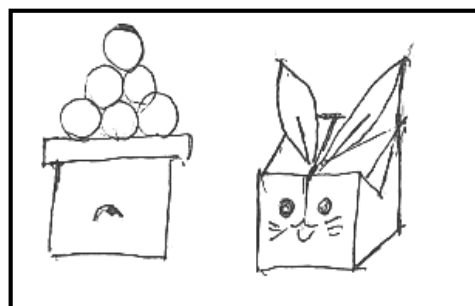
ススキに秋の七草、お団子や里芋、果物を備えてお月見をします。ススキは何本？ お団子はいくつ備えるの？

15個(12個説も) 備え方は、普通は9・4・2個と重ねる(我家は8、4、2、1)。

《月では兔がお餅つき》

どこに兔がなんて探しながら、名月を楽しみましょう。

可愛い**風船ウサギ**を皆で折ってお団子に添えました。



七五三：男児は3歳と5歳、女児は3歳と7歳で11月15日に成長を祝って、神社・寺にお参りする。なぜ11月15日なの？ なぜ男児は5歳でお祝いするの？ ちゃんと意味や由来があり、説明を聞いてなるほど！---と。童謡 通りゃんせ の ♪ 帰りは怖い ♪ ってどういうこと？ 関所説などあります。最後に皆で ♪ 通りゃんせ ♪ を歌いました。詳しい資料をご用意頂き、由来・意味の説明に頷き、楽しい時間でした。ありがとうございました。“楽しい” “やってみよう” との声が聞かれました。西暦と暦についての関連をさらに勉強された姿勢に感心しました。

～～日本の美しい四季を愛で、祭事・行事は家族で、地域で育んできた文化(心の故郷)を子ども達の心にも～～ 共に楽しみ、伝えていきたいものです。